



このコンテンツでは、不二家ファミリー文化研究所が独自に行った、さまざまなアンケート調査の結果を、毎月皆さんにお届けしています。

今回不二家ファミリー文化研究所が行ったのは、全国の20代～60代の既婚女性188名を対象とした「家族(家庭)」に関するアンケート。

第17回は、「ヘそくり」についてお届けします。

Q ご主人やご家族に内緒の、貯蓄(ヘそくり)はありますか？

今回は、家計のやりくりを行っていることが多い主婦の皆さまに「ご主人やご家族に内緒の貯蓄」、いわゆる「ヘそくり」について伺ってみました。

まずは、「ご主人やご家族に内緒の、貯蓄(ヘそくり)はありますか？」という質問をしたところ、「はい」48%、「いいえ」52%という結果に。

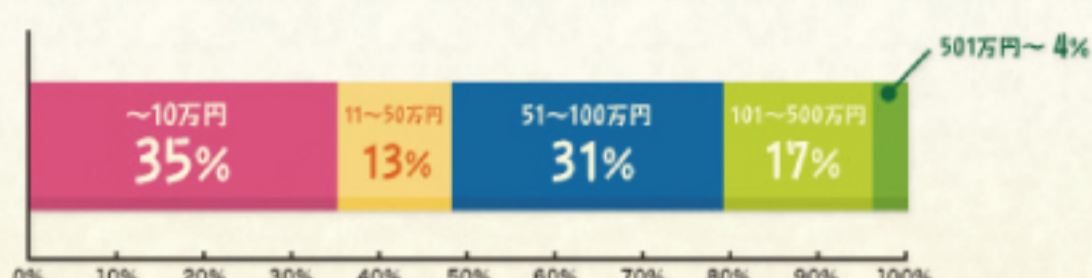
「ヘそくりがない」方がわずかに多いものの、全体の約半数の方はヘそくりを貯めていることが分かりました。

ご主人やご家族に内緒の貯蓄(ヘそくり)はありますか？



Q 【ヘそくりがある方】ヘそくり額を教えてください。

ヘそくり額を教えてください。



次に、「ヘそくりがある」方に対し、さしつかえがなければ「ヘそくり額を教えてください。」と聞いてみました。

すると、金額にはバラつきがありましたが、多かったのは10万円以下と51万～100万円という方々。

また、回答して下さった方の中で最も多かったヘそくり額は、なんと1000万円！ご主人やご家族に内緒で貯めるコツを、ぜひ伺ってみたいですね。

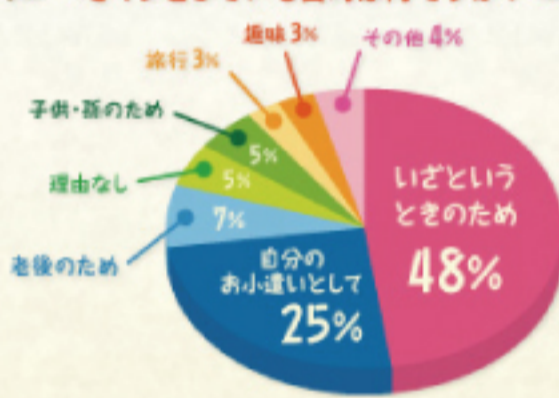
Q 【ヘそくりがある方】ヘそくりをしている目的は何ですか？

続いて、「ヘそくりがある」方に「ヘそくりをしている目的は何ですか？」という質問をしたところ、右のグラフのような結果になりました。

1番多かった回答が、「現状で具体的な理由はないが、急な出費があった時に対応できるように貯めている」という「いざという時のために」でした。

皆さんの具体的な回答をご紹介しますのでご覧ください。

ヘそくりをしている目的は何ですか？



ヘそくりをしている目的は何ですか、どのようなことに使いたいか、できるだけ具体的に教えてください。(一部抜粋)

1位 —いざという時のために—

- ・家族が病気した時や万が一失業した時の「何かあった時」のため。(会社員・役員/40歳)
- ・急な休職、入院時や離婚する場合の必要経費として。(パート・アルバイト/44歳)
- ・何かあった時のため、急な入院やお金が必要な時のため。(専業主婦/42歳)
- ・主人がお財布を握っているので、許可を得ずに使えるものとして、安心材料として持っていたい。子供の教育費で、主人が反対しても払いたい内容の時使うつもりでいるが、できれば話し合いで解決し、使いたくない。あくまでも、あらゆる万が一の心の余裕金。(専業主婦/45歳)
- ・万が一、離婚したり、自立しなくてはならなくなった時のため。(専業主婦/62歳)
- ・健康とかよくわからない不安材料への蓄え。(専業主婦/56歳)
- ・緊急支出用。遠方の実家の帰省とか。(パート・アルバイト/60歳)
- ・もしもの時の緊急事態に対応するため。(専業主婦/62歳)
- ・実家の面倒をみなければならなくなった時の資金。(公務員/40歳)

2位 —自分のお小遣いとして—

- ・自分へのご褒美としてエステに行ったり美容室に行ったり買い物したりするため。(会社員・役員/36歳)
- ・たまに美容院に行ってトリートメントがしたくなる(なかなか目に見えないので理解してもらにくい)。友達とちょっと高いランチをした時とか。(会社員・役員/26歳)
- ・自分の趣味や衣類に使いたいです。(パート・アルバイト/53歳)
- ・洋服、美容、友人との旅行費。(専業主婦/30歳)
- ・自分のために高級品購入のため。(会社員・役員/65歳)
- ・美容院、ケーキ、和菓子。(専業主婦/51歳)

3位 —老後のため—

- ・老後の蓄え。(専業主婦/63歳)
- ・将来の生活費など。(パート・アルバイト/53歳)
- ・老後お金を気にせず旅行をしたり、食事に出かけたりするため。(専業主婦/56歳)

4位 —子供・孫のため—

- ・子供や孫のために使いたい。(会社員・役員/63歳)
- ・孫にあげるお小遣い。(専業主婦/63歳)
- ・日常生活品以外にお金を使うことにうらやましいので、自分でお金を貯めて子供の教育(幼児教育)に充てたい。(専業主婦/24歳)

—その他—

- ・夫に金銭感覚に対する危機感を持ってもらいたいから、あえて50万円のことは教えない。(会社員・役員/27歳)
- ・500円貯金を楽しんでいます。(パート・アルバイト/38歳)
- ・主人の退職後、一緒に旅行をする。(パート・アルバイト/37歳)
- ・ローンの繰り上げ返済。(専門職/50歳)

さまざまな理由が挙げられていましたが、いずれの回答にも、並行して「何かあった時のため」、「万が一の時に」とお答えになった方が多いのが印象的でした。「あくまでも、あらゆる万が一の心の余裕金。(専業主婦/45歳)」と答えて下さっている方のように、現状で使用するためのものではないが、何か必要になった場合にすぐ用意できるようにと、「ヘそくり」をされているのかもしれませんがね。

また、「夫に金銭感覚に対する危機感を持ってもらいたいから、あえて50万円のことは教えない。(会社員・役員/27歳)」と夫婦の上下関係が垣間見えるような回答も見受けられました。

今回の調査は、いかがでしたか。

今回は、「ヘそくり」をしている主婦の方々を中心に調査をしましたが、「ヘそくりをしている理由」から皆さんの性格や家族との関係が伺えるような気がしました。

一緒に暮らしている家族や、離れて暮らす家族を含め、上手に暮らしていくために先を見据えて、家計のやりくりをしている方が多いのかもしれませんがね。

今回は、「マイホーム」についてお届けします。お楽しみに。